

揖斐川町新型コロナウイルス等対策行動計画改定案パブリックコメントにおける意見に対する町の考え

番号	意見の内容	意見に対する町の考え	修正内容
意見 (1)	町対策本部及び町対策推進会議の構成員には、経済や人権、また、医療倫理学や医療人類学、小児（18歳未満）の心理や発達に詳しい者を入れ、医学的に正しいとされたことのみならず絶対的な価値を置いて判断するのではなく社会経済の維持発展や人権尊重も常に考慮しながら判断していく体制とすべきである。	記載済み	修正なし
意見 (2)	<p>新型コロナウイルス感染症の場合、国民生活及び国民経済に重大な影響を及ぼしたのは主にまん延防止のための感染症対策であり、特に60歳未満において2022年以降は致死率・重症化率が季節性インフルエンザと同じかより低くなったにもかかわらず（令和4年12月21日新型コロナウイルス感染症対策アドバイザーボード資料4 https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001027743.pdf）各種の制限を2023年5月まで継続したことは非常に問題である。「限りある医療資源を有効活用するための医療機関受診及び救急口利用に関する4学会声明」が2022年8月に出されているが、『急性期症状（発熱・喉の痛み・□□・咳・全□のだるさ）が出現しますが、そのほとんどが2〜4□で軽くなります。順調に経過すれば、“かぜ”と□きな違いはありません。新型コロナウイルスの検査を受けることは□切ですが、検査を受けることができなくてもあわてないで療養（□宅での静養）することが□切』と書かれている。新型コロナに限らず様々な病気の軽症で済むと見込まれる人は自宅療養をすべきだったが、急性期症状があれば病院へ行って検査してこなければ休めない制度や職場や学校及び保育所等職員による受診や検査をしなければならないという案内、また判定されていない間やマスクをしていない人は全て新型コロナ患者とみなされて回避されるなどの差別的な言動があり、いまでも数日自宅療養するという対応が非常識であると言われ定着していない。2022年以降保育士からのお迎え要請では「37.2℃あるので」と言われたことがあった。少し走ったら体温が大きく変動する幼児であることを考慮せず、確認してもその他の症状や活気がないなど常と変わった様子がないのにそれでも「病院行ってください」「コロナやインフルなら連絡してください」と言われることが度々あり、発熱が何度からという基準はないにしても通常の体温変動の範囲と思われるものにも受診や検査の勧めが行われていた。園としては受け入れ人数を一人でも減らしたいのと思うが、元気なのに恐ろしい病気を扱って友達から隔離され楽しみにしていた活動や遊びができずに帰らされる子どもたちの心の傷については認識されていなかった。実際に発熱した時にお友達からコロナをうつされたんだ、自分は死んでしまうのか、と泣いていた。別の子は自分がコロナになったせいでお母さんが死んでしまうと泣いたと聞いた。感染症対策をしないと親しい人が死ぬかもしれないと毎日のように伝えてきた大人みんなが負わなければならない罪である。</p> <p>誰でも感染する可能性があること、感染源の特定は往々にして不可能なこと、感染者は加害者ではないこと（新型インフルエンザ等対策推進会議（第5回）（令和5年11月8日）資料3 https://www.cas.go.jp/jp/seisaku/ful/taisakusuisin/dai5_2023/gijisidai_10.pdf）を伝えていたとしても、感染症対策の知識をつけ対策に励めば励むほど、どこからどうやってうつったのかを詮索することになる。それは感染者を忌避し、懼り払けやすいとされた属性の人（集団生活する子供や高齢者、飲食業など）により強い行動制限を求め、マスクやワクチンなどのその人が思う感染症対策をしていない人を排除することにつながっていく。コロナ陽性死者の中心年齢は86歳程度で、平均寿命は82歳程度である。従来からお年寄りは風邪をこじらせて肺炎を起こし亡くなることは一般的であったことで、人口動態統計を見れば死因肺炎はコロナ前から2〜3万件減っていて死因コロナは2〜3万件程度であり原因ウイルスが不明だった肺炎死者が原因ウイルスが特定された肺炎死者になっただけだという指摘も初期からされている。さらに『岐阜県における新型コロナウイルス感染症対応記録』（https://www.pref.gifu.lg.jp/uploaded/attachment/445398.pdf）によれば、岐阜県内の新型コロナ死者のほぼすべてが基礎疾患があり、愛知県知事が『「第七波」で、新型コロナが原因で死亡した人はいない。重症者は他の病気が原因で重篤な状態となっている人がほとんど』として国に対し『他の疾患が主要な原因の場合を除外、または別区分とするなど定義・公表方法を変更すること』と求めた（中日新聞『コロナ死者数の定義見直し要請 愛知知事が国に』2022年8月16日）理由と同様、基礎疾患を抱えそるそる寿命（風邪から肺炎を起こし亡くなくてもおかしくない年齢）であった高齢者が亡くなっていると考えると差し支えないだろう。人間は永遠に生きることはいできない。親族や友人などとしての別れの悲しみは当然であるが、それとは別に社会全体として寿命を受け入れず100歳の人が亡くなったとトップニュースで流し、感染症対策をし続けるようにと致死率0.00%の子ども・若者・勤労世代の行動を制限し続けていることは『自由と権利に制限が加えられるときであっても、その制限は当該新型インフルエンザ等対策を実施するため必要最小限』（新型インフルエンザ等対策特別措置法 第五条基本的人権の尊重）を超えた人権侵害だと考える。</p> <p>なお、よく、若くてもコロナ後遺症がある、などと対策を続ける理由に挙げられるが、ウイルス感染後症候群はどんなウイルスの感染後にも起きるもので従前から存在していた。コロナで喧伝されて認知が広まったことで、これまで原因不明や不定愁訴、うつ、更年期などとされてきたものが後遺症として拾われていると考えられる。また、コロナワクチン接種の経験があれば、その後の感染で大量の初回免疫された株に対する抗体がつくられることが知られている。（過去の抗原曝露による免疫刷り込み・ワクチン接種により武漢株に対する免疫を有する群では、オミクロン感染後にオミクロン特異的な抗体が誘導されづらいことを支持する結果が確認された Immunogenicity of BA.5 Bivalent mRNA Vaccine Boosters. N Engl J Med. DOI: 10.1056/NEJMc2213948. オミクロン株対応2価ワクチン（BA.4-5対応型）の追加接種の有効性（免疫原性） https://www.mhlw.go.jp/content/10900000/001108196.pdf） スパイクタンパク質の長期残存については700日以上残存、一年以上残存など複数の論文で長期にわたり産生が続いていることが報告されている。（福岡大臣会見概要令和7年6月24日 https://www.mhlw.go.jp/stf/kaiken/daijin/0000194708_00826.html） 抗体産生が続く慢性炎症やスパイクタンパク質産生細胞を免疫が排除することによる自己免疫疾患、スパイクタンパク質の血管毒性により慢性炎症及び微小血栓が作られるといったコロナ後遺症の発症要因と考えられていることはワクチン接種でも起こりえ、接種していなければ”コップの水があふれて”コロナ後遺症になることもなかったのではないかと考えられる。 （2、コロナ後遺症はなぜ起きる？発症のメカニズムと体への影響 https://ginza-rengadori.com/blog/post-778/）</p>	記載済み	修正なし
意見 (3)	<p>新型コロナ感染対策環境整備事業等について 単に成果として示すのみではなく、研究が進み知見が変わっていることなど検証し、前例踏襲ではなく効果のある対策をとれるようにすべきである。 バス飛沫防護板設置事業・庁舎感染対策 バス内は3〜5分で換気され空気が入れ替わることが国土交通省資料によりわかる。呼吸器感染症はエアロゾルによる空気媒介感染であることがWHOの技術報告書で示されているが、パーテーションは換気の妨げになり逆効果であるという指摘がされている。いまだにアクリル板やビニールカーテンが設置されたままになっている場面がよくあるが、感染症対策以外に理由があつてつけているのでないなら速やかに撤去すべきである。 観光バス及び路線バスの車内換気能力 https://www.mlit.go.jp/jidosha/anzen/top/data/covid19_info_shyanaikanki.pdf 「空気感染する病原体に関する用語」の案に関する、グローバル技術協議報告書 https://japan-who.or.jp/news-report/2404-37/ [緊急寄稿] COVID-19は空気感染対策に注力を（向野賢治 ほか） https://www.jmedj.co.jp/blogs/product/product_19893 「アクリル板」実は感染対策に逆効果だという衝撃 正常な換気を妨げ、エアロゾル感染増やすかも https://toyokeizai.net/articles/-/451074</p> <p>デマンド・バス交通事業 誤字。3蜜⇒3密</p>	修正	<p>P.13 5 今回の町行動計画改定の目的 その一方で、初期段階において、医療提供体制の迅速な立ち上げや個人防護具の確保に苦慮し、平時からの備えの重要性を再確認した。また、感染症を専門とする医師や感染管理の高度な知識・技術を持つ看護師等、感染症対応のリーダーを担う専門人材の確保・養成も今後の課題となった。さらには、町が実施した各種の対策事業において、目指した効果が得られたか検証を実施した上で、今後の新たな感染症への準備が必要である。</p> <p>ご意見いただきましたとおり、単なる成果で終わるのではなく、新たな感染症対策に向けた検証を実施してまいります。</p> <p>誤字のため修正いたします。</p> <p><事業名>デマンド・バス交通事業 <事業内容>通学する児童生徒の3密対策のため、スクールバスとして中型バスを購入</p>

	<p>新型コロナウイルス感染症予防資材購入事業・防災対策事業 持病や体質などでマスクが着用できない人、消毒が使えない人にも配慮が欲しかった。マスクは3種類示されている咳エチケットの一つであり、絶対つけなければいけないとする広報や全戸配布はすべきでない。また、肌に直接つけるものであるので体質や好みで使えなかったり十分持っていたりすることもある。我が家も一部は廃棄し一部は手付かずで残っている。内容も企業の販促品が行政によって配られた印象が強く、全戸配布ではなく希望者が購入できるようにした方が良かった。ゴミ袋のように一定数を特定店舗や振興事務所において販売すればよかったと思う。医療機器の認定を受けていない雑貨のマスクには、空気の漏れに関する規格は存在せず、メーカー調査などで80～100%と大多数の呼吸・吸気がフィルターを通過せず上下左右の隙間を通っていることがわかっている。長距離・短距離ともエアロゾル感染が主流である以上、N95などの呼吸器保護具と言われる医療機器のマスクを規格通り着用・交換したものでなければ感染予防・感染拡大防止ともにできない。消毒についても多用することで化学物質過敏症を発症したり手荒れを起こしたりすることがある。また誤飲事故（2022年保育所での急性アルコール中毒）や手に傷があるのに使用する（禁忌）、目に入る（禁忌、適用上の注意）など化学物質過敏症の発症要因となる揮発した成分の吸入のほかにも危険があり、子供の手の届かないところに保管し、使用上の注意をよく理解した大人が見守って使用することが必要だ。石けんを使った手洗いでも十分ウイルスを除去できるため、無香料で添加物の入っていない石けんを使用すればより安全で肌にも優しく清潔を保てることは全ての人に安全な環境を整えるために必要な知識である。庁舎入り口に手指消毒液が置いてあるが、撤去すべき。</p> <p>読売新聞『柔軟剤の香りで救急搬送・一時は危険な状態に、小5で発症した「化学物質過敏症」…コロナ対策の消毒原因か？絶たれた学校生活と今抱く夢』2025/12/11 https://www.yomiuri.co.jp/local/kansai/news/20251211-GY01T00135/ 教育新聞『児童生徒の「香害」どう対応？給食用エプロンなどが原因に』2023-12-18 https://www.kyobun.co.jp/article/2023121801 社会福祉法人恩賜財団済生会『症状別病気解説』病気解説特集 > 「化学物質過敏症」で苦しんでいる人がいます』 https://www.saiseikai.or.jp/medical/column/chemical_sensitivity/ シャボン玉石けん（株）『石けんで新型コロナウイルス・インフルエンザウイルスを不活性化することができますか？』 https://www.shabon.com/shop/news/2021-1 シャボン玉石けん（株）『広島大と共同で新型コロナウイルスに対する石けんの抗ウイルス効果の研究結果を発表』 https://www.shabon.com/shop/news/20201002 シャボン玉石けん（株）『オレイン酸カリウムの抗ウイルス効果に関する論文が世界有数の総合科学雑誌に掲載！』 https://www.shabon.com/shop/news/20181031 日本医師会健康ぶらざNo.554『過度なアルコール消毒は手荒れの原因に』 https://www.med.or.jp/dl-med/people/plaza/554.pdf</p>	修正なし	<p>町民の生命を守ることを最優先に考え、品薄となっていた予防資材等を購入・配布・配備した事業であり、全ての町民に資材の使用を強要する趣旨のものではありませんので、ご理解願います。 新たな新型インフルエンザ等が発生した場合には、ご意見を踏まえ、町民にとってより有効な対策事業を実施するよう、検討してまいります。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染対策として実施した事業を記載したものであるため、修正はしません。</p>
意見 (3) 続き	<p>検温システム導入 表面温度は体温ではない。外気にさらされて変動している表皮の温度を体核温（大動脈基部の動脈温と脳の動脈温）と考え、年齢や時刻、測定部位、活動の状況などを考えず37.5℃以上が発熱であるとするのは誤った認識で、対策したつもりになっているだけである。表面温度が暑い日は高く、寒い日は低く出るのは当然のこと。意味がないので早々に撤去すべき。 高齢者における体温の測定部位別の正常値（平均）は 直腸温37.1℃、鼓膜温36.8℃、口腔温36.3℃、腋窩温36.2℃ 成人男女の正常体温は 口腔内温度は男性で35.7～37.7℃、女性で33.2～38.1℃、直腸温では男性36.7～37.5℃、女性36.8℃～37.1℃、鼓膜温では男性35.5～37.5℃、女性35.7～37.5℃ 子どもは皮膚が薄いため深部体温は大人と同じでも腋窩温は高く出る。子どもの37.5℃は少し走りまわればすぐなるが、高齢者の37.5℃はなかなかの発熱といえる。 微熱 病態・疫学・診察 https://clinicalsup.jp/jpoc/contentpage.aspx?diseaseid=1077</p>	修正なし	<p>新型コロナウイルス感染症がまん延している時期において、施設の入り口等で高い発熱をしている方に自覚・自粛していただく等の目的で設置したものであり、現在は設置しておりません。 新たな新型インフルエンザ等が発生した場合に設置する意義・有効性について、検討してまいります。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染対策として実施した事業を記載したものであるため、修正はしません。</p>
	<p>幼児園空気清浄機導入事業 電気代のほか、清掃やフィルター交換といった維持コストの負担まで考えたものではない。フィルターには限界があり、湿度や設置場所の汚れ具合で交換時期が変わる。捕集できなくなったフィルターで空気を循環させれば、空気清浄機はただのエアロゾルまき散らし機となる。清掃やフィルター交換の判断ができる知識と時間のある職員がいる必要がある。フィルターの交換費用も予算の措置がなければできないので単年度の予算で外身を買えば終わりとしていては、肝心の中身が維持できず無駄を通り越して逆効果である。実際のところ遊戯室で集まる時だけ点検普段は隅でほこりをかぶっているようなもので、空気清浄機が置いてある、という気分のためだけに導入したようなものである。エアドックの説明書を確認してみたが、水洗い可・不可の分かれたフィルター類6パーツを2か月に一度清掃するようにとされ、つけ外し順序など細かく指示されている。各幼児園で清掃したことがあるのか聞いてみたいものである。 対策を導入するにあたって、お金をかければ良いというわけではなく、効果があって簡便で維持可能な内容か充分精査すべきである。空気の流れを解析してどこどこを開ければ効果的に換気できるかマニュアルにしたり室温・湿度を維持しながら換気する重要性を研修したりする方が良かった。</p>	修正なし	<p>町民の生命を守ることを最優先に考え、ランニングコストも考慮した上で実施した事業であり、一定の効果があったものと考えております。今後も、効果的な使用に向けて、適切な機器のメンテナンスと使用における研修等の実施を検討いたします。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染対策として実施した事業を記載したものであるため、修正はしません。</p>
	<p>産業フェスティバル開催事業・いびがわマラソン開催事業 抗原検査を実施とされているが、様々な事情で検査を受けたくないと言えたのか、受けなければ参加できないという強要はなかったのか。</p>	修正なし	<p>産業フェスティバルについては、体調不良や発熱があったスタッフに対して実施したものであり、全ての参加者に強要したものではありません。 いびがわマラソンについては、抗原検査が必須であることを周知した上で参加者を募集したものであり、強要したものではありません。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染対策として実施した事業を記載したものであるため、修正はしません。</p>
	<p>サテライト型成人式・いびがわマラソン2021 オンライン 実際に顔を合わせ交流する経験は、オンラインでのイベント参加と全然別物である。直接対面する経験の代わりにはならず、また、その年齢その瞬間は二度と戻ってこないため何年か後に同じ内容を企画したとしても取り戻したとは言えない。</p>	修正なし	<p>これらの事業は、熟慮した上で実施方法を決定したものであり、特に成人式については参加者の代表である実行委員会と十分に議論を重ねております。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染対策として実施した事業を記載したものであるため、修正はしません。</p>